

改正後

別紙様式 2

国際観光旅客税過誤納額還付請求書

年 月 日 税務署長殿		(住所又は居所) (〒 -) (電話番号 - -) (氏名又は名称及び代表者氏名) (個人番号又は法人番号) ↓個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし、ここから記載してください。	還付請求者	税務署提出用
下記のとおりに国際観光旅客税の過誤納額の還付を請求します。				
還付を受けようとする過誤納額 円	納付年月日及び納付金額			
	納付年月日 年 月 日	納付月分 年 月分	納付金額 円	
過誤納となった理由	還と付する受金 け融 よ機 う関	(銀行等への振込) 銀 行 本店・支店 金庫・組合 出張所 農協・漁協 本所・支所 預金 口座番号		
		(ゆうちょ銀行の貯金口座への振込) 貯金口座の 記号番号		
		(郵便局等の窓口受取り)		
参考事項	参考事項			

※税務署整理欄	整理番号	通信日付印	年 月 日	確認	入力			
	起案	年 月 日	決 裁	署 長	副署長	統括官	担当者	確認者
	決裁	年 月 日	確認書類 個人番号カード/通知カード・運転免許証 その他 ()					
	番号 確認	身元 確認	<input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未済	確認書類 個人番号カード/通知カード・運転免許証 その他 ()				

注意 1 過誤納が生じた事実を記載した帳簿書類の写しを添付してください。
 2 ※欄は、記載しないでください。

改正前

別紙様式 2

国際観光旅客税過誤納額還付請求書

年 月 日 税務署長殿		(住所又は居所) (〒 -) (電話番号 - -) (氏名又は名称及び代表者氏名) (個人番号又は法人番号) ↓個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし、ここから記載してください。	還付請求者	税務署提出用
下記のとおりに国際観光旅客税の過誤納額の還付を請求します。				
還付を受けようとする過誤納額 円	納付年月日及び納付金額			
	納付年月日 年 月 日	納付月分 年 月分	納付金額 円	
過誤納となった理由	還と付する受金 け融 よ機 う関	(銀行等への振込) 銀 行 本店・支店 金庫・組合 出張所 農協・漁協 本所・支所 預金 口座番号		
		(ゆうちょ銀行の貯金口座への振込) 貯金口座の 記号番号		
		(郵便局等の窓口受取り)		
参考事項	参考事項			

※税務署整理欄	整理番号	通信日付印	年 月 日	確認 印	入力			
	起案	年 月 日	決 裁	署 長	副署長	統括官	担当者	確認者
	決裁	年 月 日	確認書類 個人番号カード/通知カード・運転免許証 その他 ()					
	番号 確認	身元 確認	<input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未済	確認書類 個人番号カード/通知カード・運転免許証 その他 ()				

注意 1 過誤納が生じた事実を記載した帳簿書類の写しを添付してください。
 2 ※欄は、記載しないでください。

改正後

別紙様式 5

国際旅客運送事業の承継の届出書

(収受印)			
届出者	年月日	(住所又は居所) (〒 -)	税務署提出用
		(電話番号 - -)	
		(氏名又は名称及び代表者氏名) (フリガナ)	
税務署長殿		(個人番号又は法人番号) ↓個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし、ここから記載してください。	
下記のとおり、相続（法人の合併）により、国際旅客運送事業を承継しましたので、 国際観光旅客税法第19条第__項の規定により届出します。			
被相続人	(住所) (〒 -)	(氏名) (フリガナ)	(続柄)
(被相続人がした国際旅客運送事業の開始年月日)		(相続開始年月日)	
年 月 日		年 月 日	
被合併法人	(住所) (〒 -)	(名称) (フリガナ)	
(被合併法人がした国際旅客運送事業の開始年月日)		(合併登記年月日)	
年 月 日		年 月 日	
摘要			

※税務署整理欄	承継人の整理番号	通信日付印	年 月 日	番号確認	確認書類 個人番号カード/ 通知カード・運転免許証 その他 ()
	整理番号	確認	入力	身元確認 <input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未済	

- 注意
- 1 不要の文字は二重線で、不要の欄は斜線で抹消してください。
 - 2 承継の事実を証する書類を添付してください。
 - 3 個人事業者の方がこの届出書の控えを保管する場合には、その控えには個人番号を記載しないなど、個人番号の取扱いには十分にご注意ください。
 - 4 ※欄は、記載しないでください。

改正前

別紙様式 5

国際旅客運送事業の承継の届出書

(収受印)			
届出者	年月日	(住所又は居所) (〒 -)	税務署提出用
		(電話番号 - -)	
		(氏名又は名称及び代表者氏名) (フリガナ)	
税務署長殿		(個人番号又は法人番号) ↓個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし、ここから記載してください。	
下記のとおり、相続（法人の合併）により、国際旅客運送事業を承継しましたので、 国際観光旅客税法第19条第__項の規定により届出します。			
被相続人	(住所) (〒 -)	(氏名) (フリガナ)	(続柄)
(被相続人がした国際旅客運送事業の開始年月日)		(相続開始年月日)	
年 月 日		年 月 日	
被合併法人	(住所) (〒 -)	(名称) (フリガナ)	
(被合併法人がした国際旅客運送事業の開始年月日)		(合併登記年月日)	
年 月 日		年 月 日	
摘要			

※税務署整理欄	承継人の整理番号	通信日付印	年 月 日	番号確認	確認書類 個人番号カード/ 通知カード・運転免許証 その他 ()
	整理番号	確認印	入力	身元確認 <input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未済	

- 注意
- 1 不要の文字は二重線で、不要の欄は斜線で抹消してください。
 - 2 承継の事実を証する書類を添付してください。
 - 3 個人事業者の方がこの届出書の控えを保管する場合には、その控えには個人番号を記載しないなど、個人番号の取扱いには十分にご注意ください。
 - 4 ※欄は、記載しないでください。

改正後

別紙様式 6

国際観光旅客税納税地特例承認申請書

取受印		
年月日	(住所又は居所)(〒 -)	
申請者	(電話番号 - -)	
	(氏名又は名称及び代表者氏名)(フリガナ)	
	(納税管理人)	
税関長殿	(電話番号 - -)	
下記のとおり国際観光旅客税法第13条第1項ただし書の規定による承認を受けたいので申請します。		
納税地として承認を受けようとする場所	(所在地)(〒 -) (電話番号 - -)	
	(名称)(フリガナ)	
上記場所を納税地とすることを便宜とする事情		
納税地特例承認により納税地でなくなる出入国港	所在地	名称
参考事項		
※ 上記の申請について、 年 月 日を適用日として、国際観光旅客税法第13条第1項ただし書の規定による承認をします。		
____年 ____月 ____日 税関長 _____ 印		

税関提出用(2通提出)

- 注意 1 この申請書は、2通提出してください。
 2 この用紙の欄に記載しきれないときは、適宜別紙に記載してください。
 3 ※欄は、記載しないでください。

改正前

別紙様式 6

国際観光旅客税納税地特例承認申請書

取受印		
年月日	(住所又は居所)(〒 -)	
申請者	(電話番号 - -)	
	(氏名又は名称及び代表者氏名)(フリガナ)	
	(納税管理人)	
税関長殿	(電話番号 - -)	
下記のとおり国際観光旅客税法第13条第1項ただし書の規定による承認を受けたいので申請します。		
納税地として承認を受けようとする場所	(所在地)(〒 -) (電話番号 - -)	
	(名称)(フリガナ)	
上記場所を納税地とすることを便宜とする事情		
納税地特例承認により納税地でなくなる出入国港	所在地	名称
参考事項		
※ 上記の申請について、 年 月 日を適用日として、国際観光旅客税法第13条第1項ただし書の規定による承認をします。		
____年 ____月 ____日 税関長 _____ 印		

税関提出用(2通提出)

- 注意 1 この申請書は、2通提出してください。
 2 この用紙の欄に記載しきれないときは、適宜別紙に記載してください。
 3 ※欄は、記載しないでください。

改正後

別紙様式 7

国際観光旅客税納税地特例不適用届出書

(収受印)			
届出者 税関長殿	年 月 日	(住所又は居所) (〒 -)	税関提出用
		(電話番号 - -)	
		(氏名又は名称及び代表者氏名) (フリガナ)	
		(納税管理人)	
		(電話番号 - -)	
下記のとおり国際観光旅客税法施行令第6条第4項の規定により届出します。			
納税地として承認を受けている場所	(所在地)		
承認年月日及び承認番号	年 月 日		
不適用年月日	年 月 日		
納税地特例の適用を受ける必要がなくなった理由			
参 考 事 項			

※税関整理欄	整理番号	通信日付印	年 月 日	確認	入力
--------	------	-------	-------	----	----

注意 ※欄は、記載しないでください。

改正前

別紙様式 7

国際観光旅客税納税地特例不適用届出書

(収受印)			
届出者 税関長殿	年 月 日	(住所又は居所) (〒 -)	税関提出用
		(電話番号 - -)	
		(氏名又は名称及び代表者氏名) (フリガナ)	
		(納税管理人)	
		(電話番号 - -)	
下記のとおり国際観光旅客税法施行令第6条第4項の規定により届出します。			
納税地として承認を受けている場所	(所在地)		
承認年月日及び承認番号	年 月 日		
不適用年月日	年 月 日		
納税地特例の適用を受ける必要がなくなった理由			
参 考 事 項			

※税関整理欄	整理番号	通信日付印	年 月 日	確認印	入力
--------	------	-------	-------	-----	----

注意 ※欄は、記載しないでください。

改正後

別紙様式 8

国際観光旅客税過誤納額還付請求書

(収受印)			
税関長殿	還付請求者	(住所又は居所) (〒 - -)	税関提出用
		(電話番号 - -)	
		(氏名又は名称及び代表者氏名)	
		(納税管理人)	
		(電話番号 - -)	
次のとおり国際観光旅客税の過誤納額の還付を請求します。			
還付を受けようとする過誤納額	納付年月日及び納付金額		
	納付年月日	納付月分	納付金額
円	年 月 日	年 月分	円
過誤納となった理由	還と付する受金機	(銀行等への振込)	本店・支店
		銀 行	出張所
		金庫・組合	本所・支所
		農協・漁協	
		預金 口座番号	
		(ゆうちょ銀行の貯金口座への振込)	
		貯金口座の	
		記号番号	
		(郵便局等の窓口受取り)	
参考事項			

※税関整理欄	整理番号	通信日付印	年 月 日	確認	入力
--------	------	-------	-------	----	----

注意 1 過誤納が生じた事実を記載した帳簿書類の写しを添付してください。
2 ※欄は、記載しないでください。

改正前

別紙様式 8

国際観光旅客税過誤納額還付請求書

(収受印)			
税関長殿	還付請求者	(住所又は居所) (〒 - -)	税関提出用
		(電話番号 - -)	
		(氏名又は名称及び代表者氏名)	
		(納税管理人)	
		(電話番号 - -)	
次のとおり国際観光旅客税の過誤納額の還付を請求します。			
還付を受けようとする過誤納額	納付年月日及び納付金額		
	納付年月日	納付月分	納付金額
円	年 月 日	年 月分	円
過誤納となった理由	還と付する受金機	(銀行等への振込)	本店・支店
		銀 行	出張所
		金庫・組合	本所・支所
		農協・漁協	
		預金 口座番号	
		(ゆうちょ銀行の貯金口座への振込)	
		貯金口座の	
		記号番号	
		(郵便局等の窓口受取り)	
参考事項			

※税関整理欄	整理番号	通信日付印	年 月 日	確認印	入力
--------	------	-------	-------	-----	----

注意 1 過誤納が生じた事実を記載した帳簿書類の写しを添付してください。
2 ※欄は、記載しないでください。

改正後

別紙様式10

国際旅客運送事業開始・休止・廃止届出書

(住所又は居所) (〒 -)		税 関 提 出 用			
(電話番号 - -)					
(氏名又は名称及び代表者氏名) (フリガナ)					
年月日	届出者				
(納税管理人)					
(電話番号 - -)					
下記のとおり国際観光旅客税法第20条第__項の規定により届出します。					
納税地					
開始の年月日	(国際旅客運送事業を開始した日又はその開始予定日) 年 月 日	(国内事業者が国内に事務所等を有しないこととなった日) 年 月 日			
休止、廃止の年月日・期間	(休止期間) 年 月 日 年 月 日	(廃止年月日) 年 月 日 <input type="checkbox"/> 国際旅客運送事業の廃止 <input type="checkbox"/> 国内に事務所等を有することとなった			
休止、廃止の理由					
国際旅客運送事業において使用する出入国港	所在地	名称	※書ききれない場合には、適宜別紙を使用		
参考事項	(国内に有していた事務所等の所在地及び名称)				
※税関整理欄	整理番号	通信日付印	年 月 日	確認	入力

- 注意 1 不要の文字は二重線で、不要の欄は斜線で抹消してください。
- 2 「開始届出書」として提出する場合には、「国際旅客運送事業を開始した日又はその開始予定日」欄又は「国内事業者が国内に事務所等を有しないこととなった日」欄の該当するいずれかにその日付を記載してください。
- 3 「国内事業者が国内に事務所等を有しないこととなった日」欄に日付を記載した場合には、参考事項欄に「国内に有していた事務所等の所在地及び名称」を記載してください。
- 4 ※欄は、記載しないでください。

改正前

別紙様式10

国際旅客運送事業開始・休止・廃止届出書

(住所又は居所) (〒 -)		税 関 提 出 用			
(電話番号 - -)					
(氏名又は名称及び代表者氏名) (フリガナ)					
年月日	届出者				
(納税管理人)					
(電話番号 - -)					
下記のとおり国際観光旅客税法第20条第__項の規定により届出します。					
納税地					
開始の年月日	(国際旅客運送事業を開始した日又はその開始予定日) 年 月 日	(国内事業者が国内に事務所等を有しないこととなった日) 年 月 日			
休止、廃止の年月日・期間	(休止期間) 年 月 日 年 月 日	(廃止年月日) 年 月 日 <input type="checkbox"/> 国際旅客運送事業の廃止 <input type="checkbox"/> 国内に事務所等を有することとなった			
休止、廃止の理由					
国際旅客運送事業において使用する出入国港	所在地	名称	※書ききれない場合には、適宜別紙を使用		
参考事項	(国内に有していた事務所等の所在地及び名称)				
※税関整理欄	整理番号	通信日付印	年 月 日	確認	入力

- 注意 1 不要の文字は二重線で、不要の欄は斜線で抹消してください。
- 2 「開始届出書」として提出する場合には、「国際旅客運送事業を開始した日又はその開始予定日」欄又は「国内事業者が国内に事務所等を有しないこととなった日」欄の該当するいずれかにその日付を記載してください。
- 3 「国内事業者が国内に事務所等を有しないこととなった日」欄に日付を記載した場合には、参考事項欄に「国内に有していた事務所等の所在地及び名称」を記載してください。
- 4 ※欄は、記載しないでください。

改正後

別紙様式11

国際旅客運送事業に係る異動届出書

収受印

年 月 日	(住所又は居所)(〒 -)	
	(電話番号 - -)	
	(氏名又は名称及び代表者氏名)(フリガナ)	
届 出 者	(納税管理人)	
	(電話番号 - -)	
税関長殿		
納 税 地		
(開始届出年月日)	(異動の生じた日)	
年 月 日	年 月 日	
下記のとおり異動がありましたので、国際観光旅客税法第20条第3項の規定により届出します。		
異 動 事 項	異 動 前	異 動 後
参考事項		

税関提出用

改正前

別紙様式11

国際旅客運送事業に係る異動届出書

収受印

年 月 日	(住所又は居所)(〒 -)	
	(電話番号 - -)	
	(氏名又は名称及び代表者氏名)(フリガナ)	
届 出 者	(納税管理人)	
	(電話番号 - -)	
税関長殿		
納 税 地		
(開始届出年月日)	(異動の生じた日)	
年 月 日	年 月 日	
下記のとおり異動がありましたので、国際観光旅客税法第20条第3項の規定により届出します。		
異 動 事 項	異 動 前	異 動 後
参考事項		

税関提出用

※税関整理欄	整理番号		通信日付印	年 月 日	確認	入力	
--------	------	--	-------	-------	----	----	--

注意 1 この届出書は、氏名又は名称、代表者氏名、国際旅客運送事業を行う出入国港に異動があったときに提出してください。
 2 異動事項に係る欄について書ききれない場合には、適宜別紙を使用してください。
 3 ※欄は、記載しないでください。

※税関整理欄	整理番号		通信日付印	年 月 日	確認印	入力	
--------	------	--	-------	-------	-----	----	--

注意 1 この届出書は、氏名又は名称、代表者氏名、国際旅客運送事業を行う出入国港に異動があったときに提出してください。
 2 異動事項に係る欄について書ききれない場合には、適宜別紙を使用してください。
 3 ※欄は、記載しないでください。

改正後

改正前

別紙様式12

別紙様式12

国際旅客運送事業の承継の届出書

国際旅客運送事業の承継の届出書

(収受印)			
税関提出者 税関長殿	年月日	(住所又は居所)(〒 -)	
	届出	(電話番号 - -)	
		(氏名又は名称及び代表者氏名) (フリガナ)	
		(納税管理人)	
		(電話番号 - -)	
下記のとおり、相続(法人の合併)により、国際旅客運送事業を承継しましたので、 国際観光旅客税法第20条第__項の規定により届出します。			
被相続人	(住所)(〒 -)	(氏名) (フリガナ)	(続柄)
	(被相続人がした国際旅客運送事業の開始年月日) 年 月 日		(相続開始年月日) 年 月 日
被合併法人	(住所)(〒 -)	(名称) (フリガナ)	
	(被合併法人がした国際旅客運送事業の開始年月日) 年 月 日		(合併登記年月日) 年 月 日
摘要			

(収受印)			
税関提出者 税関長殿	年月日	(住所又は居所)(〒 -)	
	届出	(電話番号 - -)	
		(氏名又は名称及び代表者氏名) (フリガナ)	
		(納税管理人)	
		(電話番号 - -)	
下記のとおり、相続(法人の合併)により、国際旅客運送事業を承継しましたので、 国際観光旅客税法第20条第__項の規定により届出します。			
被相続人	(住所)(〒 -)	(氏名) (フリガナ)	(続柄)
	(被相続人がした国際旅客運送事業の開始年月日) 年 月 日		(相続開始年月日) 年 月 日
被合併法人	(住所)(〒 -)	(名称) (フリガナ)	
	(被合併法人がした国際旅客運送事業の開始年月日) 年 月 日		(合併登記年月日) 年 月 日
摘要			

税関提出用

税関提出用

※税関整理欄	整理番号	通信日付印	年 月 日	確認	入力
--------	------	-------	-------	----	----

- 注意 1 不要の文字は二重線で、不要の欄は斜線で抹消してください。
 2 承継の事実を証する書類を添付してください。
 3 ※欄は、記載しないでください。

※税関整理欄	整理番号	通信日付印	年 月 日	確認印	入力
--------	------	-------	-------	-----	----

- 注意 1 不要の文字は二重線で、不要の欄は斜線で抹消してください。
 2 承継の事実を証する書類を添付してください。
 3 ※欄は、記載しないでください。

改正後

別紙様式13

国際観光旅客税納税管理人届出書

年 月 日

税 関 長 殿: _____

届 出 者

住所又は居所: _____

電話番号: _____

氏名又は名称: _____

代表者氏名(法人の場合): _____

下記のとおり、国際観光旅客税納税管理人を定めたので、国税通則法第117条第2項の規定により、届出します。

国際観光 旅客税 納税管理人	住所又は居所 (法人の場合) 本店又は主たる事務所の所在地	(フリガナ) (〒 -) (電話番号: - -)
	氏名又は名称及び代表者氏名	(フリガナ) _____
	届出者との続柄(関係)	_____
	職業又は事業内容	_____
国際観光旅客税納税管理人を定めた理由		_____
参 考 事 項		_____

※税関記入欄	※受理番号	※受理年月日
_____	_____	_____

- 注意 1 届出者欄及び国際観光旅客税納税管理人欄には、住所又は居所及び氏名を記載してください(法人においては、法人の所在地及び名称並びにその代表者の氏名を記載してください)。
 2 この届出書は2通提出してください。
 3 ※欄は、記載しないでください。

改正前

別紙様式13

国際観光旅客税納税管理人届出書

年 月 日

税 関 長 殿: _____

届 出 者

住所又は居所: _____

電話番号: _____

氏名又は名称: _____ @

代表者氏名(法人の場合): _____

(署名): _____

下記のとおり、国際観光旅客税納税管理人を定めたので、国税通則法第117条第2項の規定により、届出します。

国際観光 旅客税 納税管理人	住所又は居所 (法人の場合) 本店又は主たる事務所の所在地	(フリガナ) (〒 -) (電話番号: - -)
	氏名又は名称及び代表者氏名 (置 名)	(フリガナ) _____ @
	届出者との続柄(関係)	_____
	職業又は事業内容	_____
国際観光旅客税納税管理人を定めた理由		_____
参 考 事 項		_____

※税関記入欄	※受理番号	※受理年月日
_____	_____	_____

- 注意 1 届出者欄及び国際観光旅客税納税管理人欄には、住所又は居所及び氏名を記載の上、押印又は署名のいずれかを
 選択することができます(法人においては、法人の所在地及び名称並びにその代表者の氏名を記載の上、法人又は代
 表者の押印若しくは代表者の署名のいずれかを選択)。
 2 この届出書は2通提出してください。
 3 ※欄は、記載しないでください。

改正後

別紙様式14

国際観光旅客税管理人解任届出書

_____年 月 日

税 関 長 殿: _____

届 出 者

住所又は居所: _____

電話番号: _____

氏名又は名称: _____

代表者氏名(法人の場合): _____

下記のとおり、国際観光旅客税納税管理人を解任したので、国税通則法第117条第2項の規定により、届出します。

解任した 国際観光 旅客税 納税管理人	届 出 書 受 理 番 号	(ワカナ)
	住 所 又 は 居 所 (法 人 の 場 合) 本店又は主たる事務所の所在地	(〒 -) (電話番号: - -)
	氏名又は名称及び代表者氏名	(ワカナ)
	届 出 者 と の 続 柄 (関 係)	
	職 業 又 は 事 業 内 容	
国際観光旅客税納税管理人を解任した理由		
参 考 事 項		

※税関記入欄	※受理番号	※受理年月日
_____	_____	_____
_____	_____	_____

- 注意 1 届出者欄及び解任した国際観光旅客税納税管理人欄には、住所又は居所及び氏名を記載してください(法人においては、法人の所在地及び名称並びにその代表者の氏名を記載してください)。
2 この届出書は2通提出してください。
3 ※欄は、記載しないでください。

改正前

別紙様式14

国際観光旅客税管理人解任届出書

_____年 月 日

税 関 長 殿: _____

届 出 者

住所又は居所: _____

電話番号: _____

氏名又は名称: _____ ㊟

代表者氏名(法人の場合): _____

(署名): _____

下記のとおり、国際観光旅客税納税管理人を解任したので、国税通則法第117条第2項の規定により、届出します。

解任した 国際観光 旅客税 納税管理人	届 出 書 受 理 番 号	(ワカナ)
	住 所 又 は 居 所 (法 人 の 場 合) 本店又は主たる事務所の所在地	(〒 -) (電話番号: - -)
	氏名又は名称及び代表者氏名 (署 名)	(ワカナ) ㊟
	届 出 者 と の 続 柄 (関 係)	
	職 業 又 は 事 業 内 容	
国際観光旅客税納税管理人を解任した理由		
参 考 事 項		

※税関記入欄	※受理番号	※受理年月日
_____	_____	_____
_____	_____	_____

- 注意 1 届出者欄及び国際観光旅客税納税管理人欄には、住所又は居所及び氏名を記載の上、押印又は署名のいずれかを選択することができます(法人においては、法人の所在地及び名称並びにその代表者の氏名を記載の上、法人又は代表者の押印若しくは代表者の署名のいずれかを選択)。
2 この届出書は2通提出してください。
3 ※欄は、記載しないでください。